



宮澤宗弘市長

皆が地域で生き生きと暮らせるまちを創りたい

市制施行 10 周年を記念して、宮澤市長と本年度中に 20 歳になる 6 人の新成人の皆さんが、日ごろ感じていることや安曇野市のまちづくりなどについて語りました。

宮澤市長 それぞれお忙しいところお集りいただきありがとうございます。10 周年という大きな節目を迎え、一層一体感の醸成を図りながら安曇野を全国に発信して、安曇野市になって良かったと思われるまちづくりを皆さんとともに進めていきます。

皆さんは、ぜひ地域のリーダーとして活躍してほしい。これからは皆さんの時代ですので今日は率直な意見を聞かせてください。

20歳になって感じていることは？

一人暮らしで、周りにどれだけ助けられてきたか、両親がどれだけ偉大だったか実感

伊藤 行動に気を付けつつもこれからの時間を満喫したいです。お酒が解禁されたことが、すごくうれしいです。

吉原 まだ実感はありませんが、大人になったということで、これからは責任が一層ついてくると感じています。自分の行動一つ一つに気を付けたいと思います。

平川 自分の将来について考えなくてはいけない時期だと思います。自分は将来どういう職業につきたいか、特に決まってないので、明確にしていきたいと思います。

巻山 大学でも就職の話が徐々に出ていますが、こちらで就職したいと考え始めるようになりました。

岩垂 社会に出て働いており、一人の大人として見られるので、自ら考えて自ら行動できるような大人になりたいと思います。

小澤 大学に進学して一人で生活するようになり、これまで周りにどれだけ助けられてきたか、両親がどれだけ偉大だったかということ強く感じました。まだ子どもの部分を直していきたいと思っています。

宮澤市長 今は物が豊かな時代で、自由にのびのびと生活してきたと思いますが、もう少し世の中に対してこうあった方がいいとか、夢を持ってほしいと思います。20 歳は、一人前の大人として見られる社会だから、責任もそれだけあります。権利もあるけれど義務も背負わざるを得ない。個性や能力を伸ばして将来の安曇野をリード、あるいは日本をリードできるような人材に育ってほしいと思います。



平川准多さん
(大学生 穂高)

大学で経済学を専攻。自分で何かを見つけ新しいことにチャレンジしたいと話します。

安曇野市をもっと大胆奇抜に宣伝してほしい

安曇野市の魅力、これからどんな市になってほしい？

外国のお客様に対して安曇野をもっとアピールしてはどうか。魅力的な都市にしていくために、もっと何か特色が必要では。人が触れ合える温かな環境をもっと増えてほしい。

小澤 自然が豊かで、静かなところ、あと景色がきれいなところが好きです。大学で外国人の先生に自己紹介した時に出身地を答えると、安曇野市のことを知っていました。意外と海外の人にも知られていることから、海外に向けて力を入れて PR した方がいいと思います。

岩垂 市の魅力は、山がすごくきれいなところです。堀金と三郷の境の拾ヶ堰が流れている所、そこは春、桜と拾ヶ堰と常念がすごくきれいに見えて大好きです。朝の田園風景や山、穂高神社など魅力がたくさんあるので、もっと PR していけばいいと思います。私は大町にある駅に勤めていますが、東南アジアからのインバウンドのお客様が多いので、安曇野のことをしっかりアピールできれば、さらに安曇野が潤うと思います。

巻山 高校に通っていた頃、有明駅がすごくいい場所だと感じました。当時、おそらく定年を過ぎた方が働いていて、いつも温かく接してくれました。そういう環境をもっと増えれば良いと思います。

平川 安曇野と言ったら自然がきれいですが、逆に言えば安曇野の特徴がそれくらいしかないとも言えます。もっと魅力的な都市にしていけないと人口減少が進んで、自分たちのふるさとが寂しいところになってしまいます。魅力的な都市にしていくために、もっと何か特色が必要だと思います。例えばスポーツが活発な地域だと、子どもたちがスポーツをして地域全体が活発になっていくと思います。

吉原 ここに来るときに自分の最寄駅まで歩きましたが、水がすごくきれいで、夜は星もすごくきれいで改めて安曇野の良いところに気づきました。大学で自己紹介したときに安曇野市を知らない人が多くて、若い人がもっと安曇野のことを知ってほしいと思います。

伊藤 自然が誇れるものなので窓を開ければいい空気が入ってきたり、水がおいしかったり、今のままの安曇野でいいと思います。



小澤夏生さん
(大学生 豊科)

将来の夢は英語の先生になること。このため来年度カナダに留学予定だと話します。

若い世代が住みやすい時代にするために自分も行動したい



伊藤大樹さん
(会社員 堀金烏川)

市内の事業所に勤務。20 歳になり、これからの時間を一層満喫したいと話します。

安曇野に愛着を持ってこれからも貢献したい



市制施行 10 周年記念座談会

市長×新成人

20歳

市長と新成人が語る
これからの安曇野



よしはら づき
吉原葉月さん
(大学生 穂高)

商学部でマーケティングを専攻。将来はこれを生かしたいと話します。

安曇野は子育てしやすい環境、もっと強調してほしい



まきやま りこ
巻山梨子さん
(大学生 明科七貴)

建築士を目指しており、地元で就職したいと話します。

地域の人と自分からつながりを求めることが大切

宮澤市長 安曇野らしい原風景や地下水など、貴重な資源を後世に伝えていかなければなりません。一方で、生活していくためには、こうした資源を活用しながら企業誘致など産業振興を図り、雇用の場を確保していかなければなりません。雇用の場が生まれれば、市の経済、財政も潤います。こうしたことから市の将来像「北アルプスに生まれ共に響き合う田園産業都市安曇野」を掲げ取り組んでいます。平川君が言ったように自然も大切だけれど、もっと何か一つ突出するもの、安曇野らしさ、差別化を図れるもの、他の自治体に誇れるものを生み出していないと人口減少時代には対抗できません。知恵を出し合って人口減少を食い止める必要があります。

人口減少問題・結婚について感じていることは？

助成金制度の充実や企業誘致は有効だと思う。

結婚してここに住みたい、平和で子どもを安心して育てられる。

巻山 若い人たちが戻ってこない理由を周りの友達に聞くと、戻って来たいけど働く場所がないと言います。工場を造るにも建物の高さや場所など景観に配慮し、環境保全と産業発展をバランス良くやっていくしかないと思います。

岩垂 人口減少は、原因が一つではないので、ここを直せば人口が増えるという解決の糸口が見つかりません。結婚できるかどうか今の自分には想像できません。若者の意識改革というか、安曇野で家族と一緒に暮らしたいと思えるような政策を進めればもっと若者も残ると思います。助成金制度など魅力的だと思います。

小澤 人口減少の理由は単純に結婚したくないという人が増えたこともありますが、子どもを育てていく自信やお金がないことも原因なので、助成金を出すことは有効だと思います。市が企業を誘致して雇用が増えれば、財政が潤い助成金を充実させることができると思います。

平川 人口減少をくい止めるには、市外から人を呼び寄せることが重要ですし、同時に市からの流出も防がなくてはならないと思います。安曇野ならではの気候を生かして大きな企業を誘致することが重要だと思います。また、助成制度など安曇野市を大胆な方法でもっと PR すれば状況が変わってくると思います。

吉原 安曇野市は、自然が豊かで子育てをしやすい環境だと思うのもっと強調してほしい。助成金で支援することも大事だと思います。

伊藤 住むことに関しては、安曇野市の方が適していて、自分も結婚したいし、結婚したらここに住みたいと思います。平和で子どもも安心して育てられるところを生かせばいいと思います。



いわだれ せいや
岩垂聖也さん
(会社員 三郷明盛)

JR 東日本に勤務。信濃大町駅で窓口業務をはじめさまざまな業務を担当していると話します。

安曇野で家族と一緒に暮らしたいと思える政策を



友人を大切に、両親、家族を大切に、そして自分を大切に

市長 保育料の減免や中学生までの医療費の無料化などの子育て支援や、固定資産税の減免などの企業誘致策、空き店舗を活用した新たな企業家への助成制度など、さまざまな支援制度がありますが、もう少し PR をする必要があるかもしれないと思います。市では、このほか農業後継者を育成するための支援制度も充実させ取り組んでいます。

結婚については、経済的な理由は大きいと思うけれど、結婚が面倒、自由が利かなくなってしまうという考え方の人も増えています。いずれにしても人口減少は、生産力や国力の低下を招いてしまうので、皆さんには、ぜひ結婚をして幸せな家庭を築いてほしい。そして、これからの時代、皆さんが中心となってきます。安曇野にいても、都会にいても、その地域あるいは企業で必要な人になってもらいたいと思います。

座談会を振り返って

人と一緒に生きていくことに積極的じゃない人が増えてきていると思いました。

小澤 市がどんなことに取り組んでいるのか知ることができました。結婚しないことが、だめだと言いつれない時代になり、難しいところですが、若い世代が住みやすい時代になることを願っていますし、自分でも何か行動しなければいけないと感じました。

岩垂 貴重な体験でいい勉強になりました。人口減少とか安曇野の今後の展開とか、同世代の皆さんの意見が聞けて良かったです。今後は一人の成人として安曇野を背負っていかなくてはなりませんので、その自覚をしっかりと持って過ごしていきたいと思います。

巻山 未婚者が多いこと、また子どもが少ないこと、それは経済的な理由だけじゃないことなどは分かったんですが、人と一緒に生きていくことに積極的じゃない人が増えてきていると思いました。根本的な精神の部分に関わってくると思います。将来のことを考えると地域の人と自分からつながりを求めることが結局は大事になってくると感じました。

平川 自治体が直面する問題はどれも同じでそれぞれが頑張っていると思います。その中で今までの考え方にとらわれずに、もっとフレッシュな考え方で PR して、安曇野市がもっと有名になることを願っています。そのために自分たちも頑張りたいと思います。

吉原 地元を守っていききたいと思いましたが、課題の解決に自分も関わっていききたいと思いましたが。あと県外に住んで安曇野の良さを改めて感じる事ができたので将来戻って来たいと思いました。

伊藤 これまで知らなかったことを改めて知ることができました。これからも安曇野市に貢献していきたいと思っています。そして、安曇野に愛着を持って過ごしていきたいと思っています。

市長 皆さんは奨学金制度を活用していますか。市では、基金を活用して、市独自の奨学金制度的なもので経済的に困窮する学生の皆さんを支援ができないか検討していますので、気付いたことは提案してほしいと思います。

皆さんはすでに選挙権を得ているので、これからは政治にも関心を持って積極的に参画してほしいと思います。あと親身になって相談に乗ってくれる友人を大切に、両親、家族を大切に、そして自分を大切にしてください。これからの人生で挫折もあると思います。そんな時は仲間の支えを借りて、自分に自信と誇りを持って頑張してほしいと思います。

◆定住意向や人口減少問題等に関する意識調査結果より
(18歳から69歳の男女2,000人を対象に市が27年度に実施)

□人口減少、少子高齢化の理由(複数回答)

- 1 「経済的負担を心配して産む子ども数が減っていること」 43.4%
- 2 「市内では働く職場が限られ市外に出でいかざるを得ないこと」 40.4%
- 3 「男女ともに未婚率が高くなっていること」 39.7%

□人口減少・少子高齢化問題を解決するために必要な取り組み(複数回答)

- 1 「企業誘致」 30.8%
- 2 「移住促進のための空き家等の活用の PR」 27.6%
- 3 「子育て世帯への助成金等の支援」 25.3%

□未婚化、晩婚化が進んでいる原因(複数回答)

- 1 「積極的に結婚しようという意識が減ってきているから」 47.1%
- 2 「家庭を持つ経済力がないから」 28.6%
- 3 「自由で気楽な独身生活に価値観を置くようになった」 27.6%

以上の項目を上げる割合が高かった。



市制施行10周年記念座談会
市長×新成人